

## 「通称名を使つての献金は問題なのでは？」

### ●ひーろPさんからの質問

通称名についての質問です。通称名いわゆる「通名」ですが西田さんほどのように考えられているのでしょうか？過去国会において政治資金の問題で必ず議論になるのが「通名」による外国人からの献金です。「日本人名だからわからなかった」「調査し返金した」などと毎度同じ答弁（弁解）が繰り返されています。通名で銀行口座が持てる事自体が異常な事だと思うのは私だけでしょうか？外国人の生活保護不正受給の事例ですが、本名名義の銀行口座を空にし通名口座に貯金を持っていても調べることなく支給されていると聞きます。その他通名による在日外国人の特権と言える事例は多数あります。これは明らかに日本人差別であり許されるものではありません。

### ●西田昌司の答え

「通名による献金だったから、外国人だとはわからなかった」という言い訳はそもそも通りません。私は国会で外国人献金問題を追及してきましたが、私のことを良く思わない人々がネット上で「通名で西田に献金をして、西田をはめてやれ」といった書き込みをしていました。しかし、私が献金をいただく場合には、「日本人ですか？成年ですか？」といった内容のチェックリスト用紙を用意して献金者に直接記入をしていただいて、その用紙を私の方で保管しています。外国人からは献金をいたしませんので、外国人献金問題はそもそも発生しません。仮に外国人が日本人だと偽って献金をしたとしても、私は事前に確認をしていますので罪には問われませんし、逆に外国人の方が罪に問われることとなります。外国人献金問題で糾弾された議員は、このような事前の確認を怠ったために問題となってしまったのです。デリケートな問題だから確認しなかったのか、あるいは、献金が欲しいが確認するともらえなくなるから確認しなかったのかはわかりませんが、糾弾され

る議員の側に責任があるのは言うまでもありません。

ところで「通名」の問題は、歴史的な経緯を考えなければなりません。1910年の日韓併合から、1945年に大東亜戦争で日本が敗戦するまでの36年間、大日本帝国が大韓帝国を併合し、朝鮮人は日本人の一員となりました。日本人と朝鮮人は違う民族であり、言葉・文化・歴史が異なるのですが、併合時は日本人が朝鮮人に対して日本人としての教育をして、日本語を教えました。現在、朝鮮人は日本人に対し「日本は朝鮮民族の歴史を踏みにじった」などと反日の姿勢を貫いていますが、朝鮮人の立場になって考えると彼らの自尊心が傷つけられる気持ちも理解できます。

併合時、日本人は朝鮮人に対して日本人と同様の権利・義務を与えました。朝鮮人には選挙権・被選挙権もありましたし、1944年からは朝鮮人の徴兵も行われました。当時の日本と朝鮮との関係は、現在のアメリカとハワイの関係を思い浮かべるとよく理解できます。ハワイはアメリカの第50番目の州ですが、もともとハワイに住んでいた人々は白人系ではありませんでした。しかし、今ではアメリカ人として大統領の選挙権・被選挙権を有しています。

1939年に創氏改名政策が公布され、朝鮮人が日本式の名前を持つことができるようになりました。創氏改名は強制だったとの説もありますが、朝鮮人の方から望んで取得したというのが事実のようですし、現在、在日韓国・朝鮮人が通名を積極的に名乗ることがその事実を裏付けていると思うのです。日本に住む韓国・朝鮮籍の方は、最近では本名を名乗る方もいらっしゃいますが、大部分の方は通名を名乗っています。通名の方が便利で、国籍による差別も受けないからでしょうが、同じことが創氏改名の時にもあったのではないのでしょうか。アメリカは移民国家であり様々な人種がいますが、日本人と朝鮮人では外見上の区別が付きにくく、国籍を隠したいという願望もより強くなるのでしょうか。通名に関しては、これまでの経緯を考えるとある程度しかたのない面もあろうかと思えます。

しかし、国籍をはっきりとさせなければならない時も当然あります。かつては在日韓国・朝鮮人の犯罪の報道では「〇〇こと××」のように通名とともに本名も明らかにされましたが、この頃は本名が明らかにされずに、外国人による犯罪という事件の背景をぼかした報道に接することがあります。しかし、凶悪犯罪に関しては犯人の国籍を明らかにして社会全体で再犯防止に努めなければなりません。

外国人に権利を与えて過ぎて日本人の権利が脅かされているという問題については、通名の問題よりももっとしっかりと議論すべき問題があります。外国人は日本の国会議員にはなれませんが、最近では公務員の国籍条項を撤廃した府県もあり、外国人が公務員になれるという異常な事態となっています。また、国会では永住外国人への地方参政権付与の議論もされてきています。参政権の問題を語る時に忘れてはいけないのは、政治に参加する権利と国を守る義務は表裏一体であるということです。現行憲法には国を守る義務について書かれていませんが、書かれていなくても日本人としての当然の義務であるのは言うまでもありません。日本人以外に日本を守る義務など誰も持たないし、日本を守る義務のある日本人にしか政治に参加する資格はないのです。

「国境をなくして地球全体を一つにし、国民ではなく地球市民になろう。そうすれば世界中が平等になり、戦争がなくなる」などと主張する人々がありますが、これは全く馬鹿げた議論です。国がなくなったら、市民同士の利害調整はどうするのでしょうか。日本は不況といえども経済大国ですから、中国はじめ多くの国から職とお金を求めて、不法入国者が後を絶ちません。今まがりなりにも、こうした不法入国者を取り締まれるのは、日本という国があり国境があるからです。国がなければ、我々の生活は一日たりとも成り立たないのです。

通名のような問題を考える時には、「人権」といった言葉を振りかざして「外国人も同じ人間だ」などと思考停止してはなりません。逆に問題視しすぎると「外国人差別」ということにもなってしまいます。非常に微妙な問

題ではありますが、TPOに応じて上手く対処するしかないのだと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>